



地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (Program for Forming Japan's Peak Research Universities : J-PEAKS)

令和4年度第2次補正予算額 1,498億円

背景・課題

- 近年、我が国の研究力の低下が指摘されている中、**日本全体の研究力の発展をけん引する研究大学群の形成のため**には、大学ファンドによる国際卓越研究大学と、**地域中核・特色ある研究大学***が共に発展するスキームの構築が必要不可欠
 - * ①強みを持つ特定の学術領域の卓越性を発展させる機能、②地球規模の課題解決や社会変革に繋がるイノベーションを創出する機能、③地域産業の生産性向上や雇用創出を牽引し、地方自治体、産業界、金融業界等との協働を通じ、地域課題解決をリードする機能：これらのいずれか又は組み合わせた機能を有する大学
- そのためには、地域中核・特色ある研究大学が、特色ある研究の国際展開や、地域の経済社会や国内外の課題解決を図っていくよう、特定分野の強みを核に大学の活動を拡張させるとともに、大学間での効果的な連携を図ることで、研究大学群として発展していくことが重要

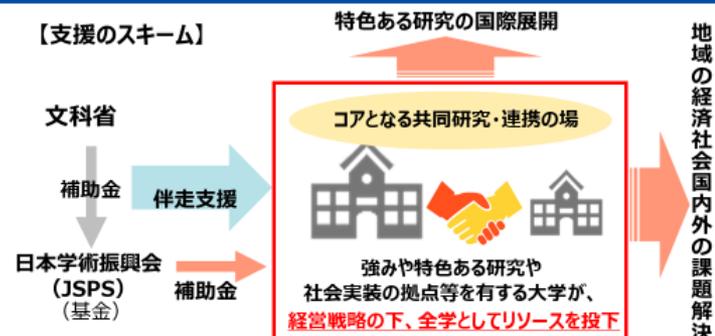
事業内容

研究力の飛躍的向上に向けて、**各大学が10年後の大学ビジョンを描き、そこに至るための、強みや特色ある研究力を核とした経営戦略の下**、大学間での連携*も図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速・レベルアップの実現に必要なハードとソフトが一体となった**環境構築の取組を支援**

* 連携を行うことが目的ではなく、学内に不足するリソースや課題を戦略的に補完するために連携

【事業概要】

- 事業実施期間：令和5年度～（5年間、基金により継続的に支援）
- 支援件数：最大25件程度（令和5年度に12件採択済）
- 支援対象：
 - 強みや特色ある研究や社会実装の研究拠点**（WPIやCOI-NEXT等の拠点形成事業、地方自治体・各府省施策、大学独自の取組等によるもの）等を有する国公立大学のうち、**研究力の向上戦略を構築した上で、全学としてリソースを投下**する大学
 - ※ 5年度目を目途に評価を行い、進捗に応じて、必要な支援を展開できるよう、文部科学省及びJSPSにおいて取組を継続的に支援（最長10年を目的）
- 支援内容：
 - A) **戦略的実行経費**（最大25億円程度（5億円程度/年）/件）
研究戦略の企画・実行、技術支援等を行う専門人材の件費、調査その他研究力の向上戦略の実行に必要な経費
 - B) **研究設備等整備経費**（最大30億円程度/件）
研究機器購入費、研究・事務DX、研究機器共用の推進を含む研究環境の高度化に向けて必要となる環境整備費等



- 強みを有する大学間での連携による相乗効果で、研究力強化に必要な取り組みの効果を最大化
- 特定領域のTOP10%論文が世界最高水準の研究大学並みに
- 強みや特色に基づく共同研究や起業の件数の大幅増加、持続的な成長を可能とする企業や自治体等からの外部資金獲得
- ✓ 研究を核とした大学の国際競争力強化や経営リソースの拡張
- ✓ 戦略的にメリハリをつけて経営リソースを最大限活用する文化の定着

**我が国の科学技術力の飛躍的向上
地域の社会経済を活性化し課題解決に貢献する研究大学群の形成**

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業令和6年度公募スケジュール等

○日本学術振興会（JSPS）において基金事業を実施

○スケジュール

令和6年

5月28日（火） 公募開始

7月29日（月） 提出期限

8月上旬 審査開始

（書面審査・ヒアリング、必要に応じてサイトビジット）

令和7年

1月下旬 採択大学の決定（予定）

※審査の状況等により変更する場合がある。

「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」伴走支援の基本的な考え方

（目的）

本事業（J-PEAKS）においては、採択大学が自ら設定した大学ビジョン（以下「ビジョン」という。）の実現に向けて自らの責任で取組を進めることを原則として、伴走支援では、採択大学が、設定したアウトプット・アウトカム指標達成のために効果的に取組を進められるよう、必要な助言・提案等を行うことを目的とする。

（体制）

伴走支援を行うため、日本学術振興会に伴走チームを置く。

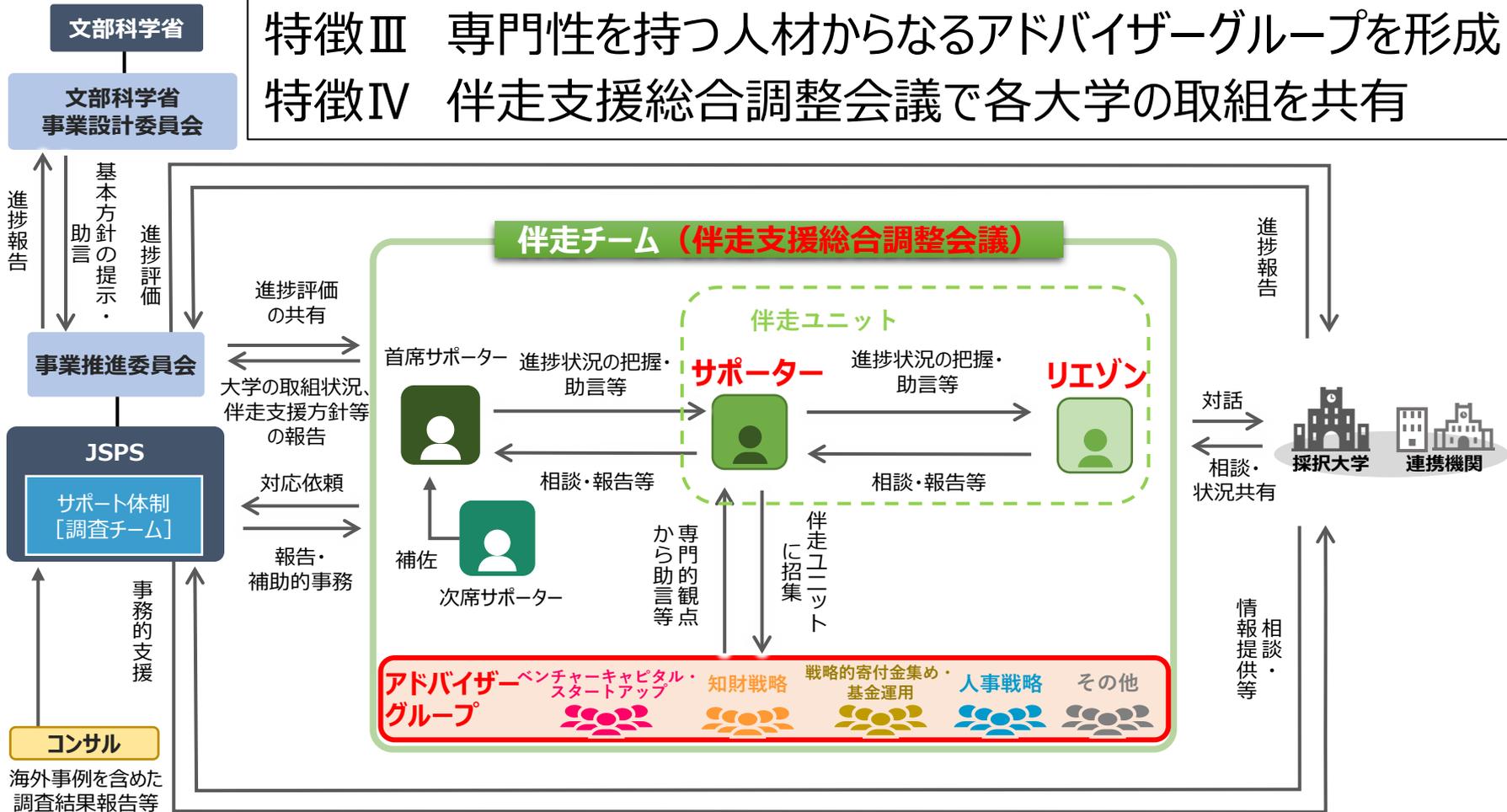
（取組）

上記の目的を達成するため、伴走チームは以下の取組を行う。

- ① 大学の状況把握・可視化 大学の認識と伴走チームの認識を一致させ、関係者が同じ土俵でビジョン実現に向けた対話ができるように環境を整える。
 - ・大学による主体的な取組を支援することを原則とし、ビジョンの見直しを要求したり、取組を指示したりはせず、大学側に気付きが生まれることを期待して対話を行う。
- ② 大学間の連携促進 採択大学間の連携を促し、共通する課題に対する好事例・ノウハウの共有等を推進する。
 - ・情報共有による個別大学の発展だけでなく、研究大学全体の発展に資するうねりが生まれることを誘導する。
- ③ 大学への助言・提案 大学においてビジョンの実現のために必要と判断した具体的な取組に対して、実効性を高める観点から専門的知見に基づく助言等を行う。
 - ・大学の責任で行う具体的な取組の質を高めるための助言・提案等であり、自らの責任で行う取組の代行は行わない。5年間の支援期間中に専門的知見についても大学に根付くように促す。
- ④ 評価を踏まえた改善の支援 事業推進委員会から指摘された改善事項に対する大学における具体的な改善を促す。
 - ・一方的に改善を要求するのではなく、どうすればより良い改善が図られるかをともに考え、具体化を促す。

「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」伴走支援の運営体制イメージ

- 特徴Ⅰ リエゾン（全12名）は各採択大学から選任
- 特徴Ⅱ 1 サポーター（全6名）が基本的に2大学を担当
- 特徴Ⅲ 専門性を持つ人材からなるアドバイザーグループを形成
- 特徴Ⅳ 伴走支援総合調整会議で各大学の取組を共有



採択大学へ機能①～③について共通指標区分を提示しています。

機能①に関する指標区分

研究成果に関する指標

外部からの資金獲得に関する指標

機能②に関する指標区分

新しい価値の創造に関する指標

社会実装に関する指標

国際的な活動に関する指標

機能③に関する指標区分

地域課題解決に向けた取組に関する指標

経済効果に関する指標

✓ 伴走チームとの対話に向けた意識合わせ

✓ アウトプット・アウトカム指標の見直し

✓ 研究大学群の形成に向けた進捗管理や分析等

委員会から提示する指標区分及び指標例【機能①】（1 / 3）

機能①の強化に向けた取組について、各採択大学、事業推進委員会及び伴走チームの意識合わせのため、以下の区分を設定

| 機能①に関する指標区分（2項目） | 指標例（◆定性的、□定量的） |
|------------------|---|
| 研究成果に関する指標 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 世界の一線級の研究者との能動的な交流の状況（世界最先端の研究の参画につながる国際研究ネットワークの構築） ◆ 海外から依頼のあった招聘・交流の状況 ◆ 研究力向上に向けた博士課程学生育成の取組状況 □ Top10%論文数・率 □ 国際共著論文数・率 □ 研究成果に関する記事掲載数 □ 強みを有する特定分野の研究者（若手・国際的に著名な研究者を含む。）や博士課程学生の増加数 |
| 外部からの資金獲得に関する指標 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 研究の新規性、独創性を生み出すために講じた取組の状況 □ 競争的研究費獲得数・額 □ 共同研究件数・受入額 □ 受託研究件数・受入額 |

委員会から提示する指標区分及び指標例【機能②】（2 / 3）

機能②の強化に向けた取組について、各採択大学、事業推進委員会及び伴走チームの意識合わせのため、以下の区分を設定

| 機能②に関する指標区分（3項目） | 指標例（◆定性的、□定量的） |
|------------------|---|
| 新しい価値の創造に関する指標 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 能動的なニーズ・シーズの探索状況 □ 企業との共同研究件数・受入額 |
| 社会実装に関する指標 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 能動的なマッチングの取組状況 ◆ 研究成果の社会実装に関する博士課程学生育成の取組状況 □ 技術移転数 □ 知的財産収入額 □ スタートアップ企業の創出数・外部資金調達額 |
| 国際的な活動に関する指標 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 海外機関との能動的な交流状況 ◆ オープン・クローズ戦略の取組状況 □ 海外機関との組織対組織の連携数 □ スタートアップエコシステム形成による、海外からの投資額 |

委員会から提示する指標区分及び指標例【機能③】（3 / 3）

機能③の強化に向けた取組について、各採択大学、事業推進委員会及び伴走チームの意識合わせのため、以下の区分を設定

| 機能③に関する指標区分（2項目） | 指標例（◆定性的、□定量的） |
|--------------------|---|
| 地域課題解決に向けた取組に関する指標 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 自治体への能動的な働きかけ・交流・課題の把握・解決へ向けた取組の状況 ◆ 地元企業等への能動的な働きかけ・交流・課題の把握・解決へ向けた取組の状況 ◆ 地域課題解決に向けた博士課程学生育成の取組状況 □ 地域課題解決型のプログラム実施件数 □ 自治体との連携によって自治体の施策につながった件数 □ 地域課題解決のモデルケースを他の地域に応用した件数 □ 政策文書への反映数 |
| 経済効果に関する指標 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 自治体への能動的な働きかけ・交流・課題の把握・解決へ向けた取組の状況 ◆ 地元企業等への能動的な働きかけ・交流・課題の把握・解決へ向けた取組の状況 □ 対象地域における雇用創出数 □ 対象地域におけるスタートアップ創出数 □ 対象地域の企業との共同研究件数・受入額 □ 一人当たり所得増減率 |